

第25回 国家戦略特別区域諮問会議資料

養父市 中山間農業改革特区

平成28年11月9日

養父市長 広瀬 栄

農業を儲かる産業へ

- ◇ 農産物の生産コストが高い中山間地域において6次産業化を進めるためには、**経営ノウハウを有する企業の農業参入が不可欠**
- ◇ 法人が農地を所有することにより、「**コミュニティの一員**」と地域から認知されることで、**地域に根付いた持続的営農が可能に**

企業等多様な担い手を確保

農業による雇用創出への期待

若者による**就業の場の創造** (サラリーマン農業)

耕作放棄地・休耕田の再生

お荷物になろうとしている農地が**生産性ある農地**へ

農地の流動化の促進

農業できない**農地所有者(売り手)**と**農業の担い手(買い手)**の**マッチング**

農地・農業・農村を守る

市内3社の農地取得と今後の展開

(株) Amn a k

酒米の生産



生産から収穫、精米までを一元管理するため、**ライスセンターを整備**。

今年、収穫した酒米の一部を地域の酒蔵と連携(OEM)し、日本酒「**能座ほまれ**」を製造・販売予定。アメリカ・台湾等への輸出を目指す。



(株) やぶの花

りんどう・小菊等の生産



不在地主の売り手ニーズを踏まえ、農地を取得。耕作放棄地等を再生しながら、中山間地で本格的な花卉栽培に取り組むため、通年栽培が可能な**園芸施設**も整備。

企業・農家への**栽培指導の強化**と**集出荷施設**を整備。



兵庫ナカバヤシ(株)

にんにくの生産



製本業の閑散期における業務の平準化を図るため、農業分野へ進出し、地域の雇用と農地を守る。

にんにく生産の**規模拡大**(H27:0.7ha⇒H30:10haを目標)。
にんにく栽培技術実証圃場として**土壌改良**等を行う。
にんにくの**保存・乾燥施設**や将来的には加工施設を整備。

